

神田通信

● 歌稿の送り先について ●

今年度中（2021.3.10締切分まで）の月々の歌稿の送り先は、

263-0031 千葉市稲毛区稲毛東
6-10-2-1202

関谷方 久我田鶴子

です。

新型コロナウイルスによる状況が落ち着くまで本社に集まって作業することを控えています。
よろしくお願いいたします。

◆今月の「地中海」は百ページで通巻七五〇号、キリのよい数字が並んだ。再来年は創刊七十年目を迎える。先人の歩みに敬意を表しつつ前に進まねば。

（高尾）

◆砂子屋書房「日々のクオリア」のアーカイブを開くと、柏崎驍二の歌を取り上げた鑑賞文のなかで、国分一太郎の「たわしのみそ汁」が紹介されていた。読む度に心に沁みる話だ。（藤田）
◆電話が壊れました。FAXなしの電話に買い換えましたが、それでも多機能すぎて使いこなせるかどうか……。昔の電話が懐かしい。（木村）
◆あれっ、糞虫が歩いてる。朝玄関のドアを開けた時のことで、初めて見たのだった。糞虫は、オオミノガという蛾の幼虫、雌は生涯糞暮らしとか。（三好）
◆鳥の舌についてSさんからメールをいただきました。9月号の「生きものの歌」に対するもので、「いちごミルク色の硬い樹脂製という感じでした。『肩の高さの世界』がポイントです。すこし高い視線だと微妙に震えているのまでよく見えました」ということです。（成彦）

◆「歌は金円でなければならぬ。小さくてもいいから、きちんと円がとじられて、完結していなければいけない。」冲ななも新著『全円の歌人』大西民子論より。連作に流れがちの身には戒めと響いたが……。 （和美）
◆「短歌往来」九月号「子育て&子供のうた」特集で歌人の方もその子の年代相応の、でもそれぞれ個別の葛藤があることに驚き、少しホッとしました。（玉井）
◆あさがおの花が終わりを告げました。猛暑がようやく去りましたので放置していた畑をのぞいたら、藪になっていました。目下早朝二時間の草取りじーさんやっております。（茂木）
◆デジタル庁の新設と聞くと、これからどんな世の中になるのかと溜息も。九歳の孫からメールが届く。四歳の孫はユーチューブに釘付けらしい。（楢垣）
◆コロナが感染拡大した頃は、本社へ行って必要な郵便物を大袋に入れ、すぐ自宅へ持ち帰っていた。今、緊張感が薄れつつある。油断大敵！ （磯田）

◆コロナ禍の中、編集部のみならず、皆さまのご尽力で令和二年の上半期（四月〜九月）遅滞なく地中海誌を会員の皆様にお届けすることが出来ました。また会計は永塚さん、大浪さんが協力してしっかりと仕事をしてくださっています。下半期も心を合わせて困難を乗り越えていきたいと思っております。（藤森）
◆十一月号、通巻七五〇号となりました。高尾恭子歌集『裸足のステップ』の批評号です。コロナ禍の中で働く現場（病院・百貨店・学童保育）からの声も。写真歌合わせにも思いのこもったたくさん作品が寄せられました。来年の全国大会も中止になってしまいましたが、地中海誌は元氣です。
◆次の十二月号は自選号。特集には「石田明彦あつカルト」。タクシードライバーの石田さん、今度はどんな世界を見せてくれるのか。二〇二〇年の締めくくりに、「コロナ禍の中で迎えた戦後75年への思い」も特集します。（久我）

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名(ふりがな)

- ②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始(停止)月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

二〇二〇年度分の会費を未納の方は納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっています。各欄の月額は次の通りです。

- ・ A欄 二〇〇〇円
 - ・ B欄 一五〇〇円
 - ・ C欄 一〇〇〇円
 - ・ 購読 一〇〇〇円
- 二十歳未満の学生は五〇〇円です。(若い人たちは非ご勧誘ください)

00160・4・17969 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳をお書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて

一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめての申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。こちらから発送する際に振込用紙を同封いたしますので、代金はそれを使って振り込んでください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただけます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、

①歌集名(未定の場合には仮題でも) ②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。

印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩へ新装版』注文受付
一冊2000円(税と送料は桃原氏負担)です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

00160・2・790055 九曜書林
本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありますが、常駐する者がおりませんので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合には、
・ 藤森：☎ 090-8301-6423
・ 久我：☎ & FAX 043-241-7925
までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見その他もどうぞお寄せください。

